
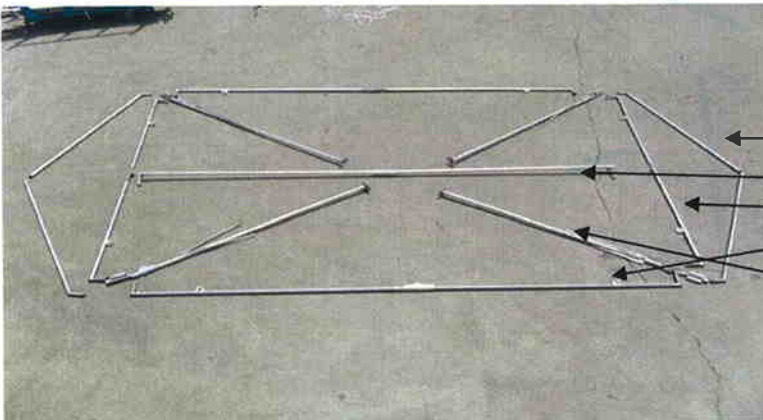


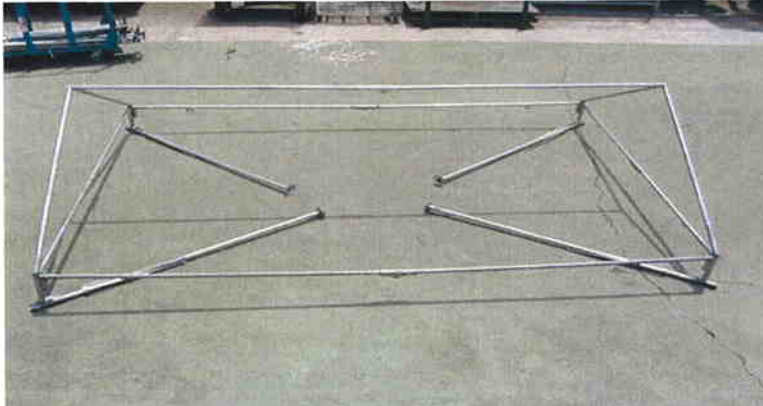


パイプテント(1.5K×2K)

| 区分 | 作業手順 | 作業要領 | 安全対策、注意事項 |
|------|--|--|---|
| 作業準備 | 設置前打ち合わせ | <p>設置場所(スペース)、テントの間口(向き)を事前に打ち合わせする。</p> <p>現場の環境(風、地盤)を調べ、養生方法を定める。</p> | <p>養生のスペースも確保すること。</p> <p>地盤を見極め、杭、ウエイトどちらか養生を決め、風が強い場合は養生を通常より増やす。(状況に応じて幕を外しておき、足も伏せておく。)</p> |
| 部材確認 |  | <p>① ムネ×1 合掌×4</p> <p>② 1.5K桁×2 2K桁×2</p> <p>③ 外足×4</p> | |
| 設営作業 |  | <p>部材を確認したら、左記の写真のように部材をならべます。</p> <p>合掌 ムネ 1.5K桁 2K桁 外足</p> | |
| |  |  | <p>部材をならべたら、桁、合掌を外足に差し込んでいきます。</p> |
| |  | | <p>部材を差し込んでいき、左記の写真の様な形をつくります。</p> |

設
営
作
業



部材が組み終わったら、次に天幕をかけます。両端に分かれて2人で天幕を広げます。

※天幕が汚れてしまう恐れがある場合はブルーシート敷いて作業する方が望ましいです。



天幕を掛けたら角と屋根の真中を合わせます。その際に角の部分の紐を部材に結びます。



天幕を掛け、角を結んだら足をおこします。

※足を起こす際、桁が抜けないようにする為、桁を入れたところの下の方を持ち起こします。



これで完成です。
撤去時は基本的にこの逆の手順になります。